



# 花緑輝

令和2年度  
学校報6月号②  
大仙市立  
太田中学校

## 学校教育目標 的校内陸上大会

互いを認め合い 広い視野で考え 地域から行動する生徒の育成

●本来ならば桜の下で行うはずの校内陸上が5月の最終金曜日になってしまいました。しかし、他県のことを考えるとできただけでも幸せ、いろいろな配慮をし、準備して下さった体育科の先生方、安全委員会の皆さんありがとうございました。



●だれもが、自分の頑張ったことを他の人に認めてもらいたいと思っています。1位の人が頑張っていて、5、6位の人が頑張っていないかということではありません。足の速くない人もその人なりに頑張っているのです。そして、順位に関係なく頑張っていることを認めてほしい。この校内陸上大会では応援や激励です。特に、3年生は一生懸命に応援していました。いい集団になってきたなと思います。



●もうひとつ、男子100m走でレース中にシューズが片方脱げるというハプニングがありました。普通なら、走るのをやめたり、あきらめて流したり、照れ笑いをしたりしてしまうところですが、彼は一層頑張って走りました。片方が脱げているとは思えないいいフォームで走り切りました。見事1位！そして感心したのは、ゴール付近で係の仕事をしていた生徒がシューズの件を揶揄したりせず、「〇〇ヤバイ！」「〇〇すごい！」と頑張りを心から認めていたことです。頑張っていれば見ている人がいる、そして認めてもらえるものだと思えて感じました。

●全部の学級が、全学年が、そして太田中がお互いの頑張りを認め合える集団となりますように。



都陸にはない種目「借物競走」楽しそうでした。



「加藤行きます！」



「福田行きます！」



「藤澤行きます！」



ゴール前の大接戦



優勝：2B

準優勝：2A 第3位：3B

## 新企画

### 私と総体～あの頃習は若かった～

ゲスト：佐藤大市先生（仙北中出身 野球）

G：総体の思い出を教えてください。

佐：毎日の練習がキツかったので、早く試合がしたいという思いで総体を迎えました。1回戦の相手は大曲南中学校、私は6番レフトで先発出場しました。試合は3対1で勝ったのですが、自分の調子は最悪、舞い上がっていたのでしょうか。

準決勝は強豪美郷中。でも、最終回までは2点差で勝っていました。いける感じがしたのですが、7回の表にフォアボール、フォアボール、ヒット、ヒットで同点。そして勝ち越しを許し、最終回に自分たちは無得点でゲームセット。かなり悔いが残る試合で、ずっと泣いていました。

総体が終わってから学校に行って、吹奏楽部の人たちに「頑張ってたじゃん！」と声をかけてもらって、そうだったのかなと思い、少し心が晴れました。

